

【教育民生常任委員会所管分】

番号	意見・質問・要望	調査結果
1	小学校を統合して新設する前に、やることがあるのでは。 人口を増やす、維持する対策にお金を使うべきではないのか。 給食費の無償化をやるべき。 学校統合は地域の問題。将来、お年寄りが(離れた自分の子どもと ところに行き) 生きがいがなくなったり、地域の環境保全もたちゆかなくなる。(意 見)	学校の統合については、児童・生徒数が減少する中、集団の中で子どもたちが互いに学び合い、協力し合い、社会性や協調性を培うことにより、社会の変化にしなやかに対応できる「生きる力」を身につけることができる教育環境を整えるため、三豊市立学校再編整備基本方針(改訂版)に基づき学校再編整備を進めていく。 給食費の無償化については、現在、国において小学校の給食無償化の方針が示されており、市においても、国の法制化を見極めて対応していくとのこと。
2	高齢者のシニアドックの補助について	令和7年度から、市が行う後期高齢者医療被保険者を対象とした人間ドックとして、シニアドックを実施している。これまで、みとよ市民病院が独自の事業として行っていたシニアドックと同じ検査内容と自己負担金となる。2万8千円を超える検査を下記の自己負担金で受診できる。 ○ 検査項目 ・健康診査： 身体計測、循環器検査、尿検査、血液一般検査、糖尿病検査、脂質検査、肝機能検査、腎機能検査 ・がん検診： 肺がん検査、胃がん検査、大腸がん検査 ※ 胃がん検査は、X線撮影又は内視鏡検査を選択可能 ○ 自己負担金 11,180円 ○ 実施機関 みとよ市民病院の1医療機関 ○ 定 員 250人 ○ 申 込 みとよ市民病院へ直接、電話又は来院 ※ 6月末現在、定員には達しておらず、申込があれば受診可能 ○ オプション検査 腹部超音波検査、腫瘍マーカー検査、骨密度検査、頭部MRIなど ※ 別途追加料金が必要

番号	意見・質問・要望	調査結果
3	和光中が廃校になったら四国の防災拠点として活用できないか。	学校再編整備基本方針(改訂版)では、第2期中(令和16年度から令和25年度)に和光中、豊中中および三豊中の3校の統合をめざすとしている計画であるため、現時点での統合時期は未定である。 また、市としては、全ての公共施設において使用しなくなった施設は売却等の検討を進めていく方針もある。 しかしながら、廃校後の活用方法について地域の方々と関係各課の意見交換が既に行われている地域もあるため、今後も丁寧に保護者や地域の方々との協議を進めていくべきと考えているとのこと。
4	統合する豊中の5つの小学校の跡地利用について。	
5	仁尾の2つの小学校の今後について聞きたい。	複式学級となっている曾保小学校については、学校再編整備基本方針(改訂版)の中で第1期中の統合を目指している。今後、保護者や地域の方と協議を進めていく。
6	曾保小学校の統廃合については、以前、一人でも反対の意見がある場合は強引には進めませんという答えだった。しかし、時代の流れは急速に進んでいる。いまは、早く仁尾小と統合したらという声も聞く。子どもたちの教育環境、生活環境を考えるとこのままでいいのかという思いがある。地元と丁寧な対話が必要である。	将来を担う子どもたちの教育環境を第一義に考え、保護者や地域の方々と、時間をかけて、丁寧に話し合いをしていく。

番号	意見・質問・要望	調査結果
7	宝山湖公園に多額の税金を投入し今年度も道路や観客席に屋根を設置するようです。当然多額の維持費などライフサイクルコストが発生します。宝山湖公園の整備に当初から反対する市民は多数おり、私もそのうちの一人です。私のような反対の市民にも赤字の場合負担が発生するのは嫌です。特に三豊市では事業の棚卸しというものをするそうですが、私のような反対の市民にしわ寄せが来るのは絶対反対です。 収支は黒字ですか？赤字ですか？赤字の場合はどうするのでしょうか？具体的に教えてください。	現状の収支は赤字であり、施設の使用料収入だけで維持管理費を賄うことは困難な状況である。 施設使用料以外の収入増についても検討する他、宝山湖公園を活用して、子どもたちのスポーツ活動、市民の健康教室、スポーツ大会・合宿の誘致および観光振興などにも取り組み、費用対効果が生み出せるよう努めていくとのこと。
8	昨年母が自宅で猪に襲われました。 (中略) 平日の朝だったのに受け入れ先はなかなか決まらずやっと三豊総合へ。退院後のリハビリ受け入れ先の西香川病院も順番待ちであった。 この現実のなか、みとよ市民病院の名前は一切上がりませんでした。役に立たない病院だと感じました。 現在高瀬に救急指定病院が建設中である中毎年血税を投入している市民病院の存続はどうなるのでしょうか。	みとよ市民病院では二次救急病院として救急車の受入れを行っているが、診察可能な医師の有無、患者の病気やけがの状態等により、やむを得ずお断りをする場合もあるとのこと。救急患者の対応については、市民病院として市民の期待に応えていけるよう、三観広域とも連携しながら取り組んでいくとのこと。 なお、病院経営については、今後とも病院職員一人一人が現在の厳しい経営状況を認識した上で経営改善に取り組み、市民の皆様が求めている診療機能の強化や健診機能の充実を図りながら、安全で良質な医療の提供に努めていくとのこと。

番号	意見・質問・要望	調査結果
9	三豊市の中学校はジェンダーレス制服です。しかし、ジェンダーレス制服は従来の詰襟制服より値段が高額で保護者の負担が重いと聞いています。従来の詰襟制服に戻し保護者の負担を軽くすることはできないのですか？	【執行部事前作成(案)】 新標準服(ジェンダーレス制服)については、中学校制服検討委員会(学校組合含む)で検討する中で、価格についてはこれまで制服として採用していた「詰襟学生服・セーラー服」の販売価格を参考に、保護者負担が増えないような価格帯でのデザイン選定が行われた。 販売価格は、販売店が決定し、上下一式(上着:ブレザーとスラックスまたはスカート)で約39,000～45,000円程度。 保護者負担も考慮して、市内7校の中学校は移行期間をそれぞれ設定しており、移行期間内は従来の制服着用も可能となっている。 私服としての着用など汎用性のあるデザインとしており、仕様としてもスラックスとスカートの生地指定はあるが、どのメーカーでも参入でき、販売店(取扱店)も指定せず、保護者が自由に選択して購入できるようになっているとのこと。
10	みとよ市民病院について、医師会との連携がとれていないという話や、旧永康病院の時にはあった毒蛇の血清を今は置いていないという話を聞く。高瀬町に民間の救急病院ができるそうだが、今後の経営は大丈夫か。市議会から要望等をしているようだが、黒字化に関して期限を切らないと延々と税金をつぎ込む一方になってしまう。(意見)	現在、みとよ市民病院には抗マムシ毒血清による治療を行える医師がいないため、この症例の治療は行うことができない状況になっている。今後も、多くの治療に対応できるよう医師確保に努めていくとのこと。 みとよ市民病院は、三豊・観音寺市医師会に所属し、市内の医療機関とは日々、連携を取っているが、今後も患者の受入れを強化し、連携強化に努めていく。また、高瀬町に立地する予定の救急病院とは協議を行っており、開院後は回復期の患者の受入れなどを通じて、連携を図っていく予定であるとのこと。 みとよ市民病院は、物価や人件費の高騰等により全国の公立病院同様に非常に厳しい経営が続いているが、経営改善の取組を強化して、早期に経営が軌道に乗るよう努めていくとのこと。